

令和2年度小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	網走社会福祉法人 網走福祉協会	代表者	古賀 敏朗	法人・ 事業所の 特徴	小規模多機能だからできる、より多機能的なサービスを提供できるよう、利用者や家族の希望に対して柔軟な対応を目指しています。当事業所は団地内に隣接し、地域交流の場となっているコミュニティーセンターも隣接しています。地域住民の方々と密接に関われるよう、町内会や老人クラブ、地域のイベントに協力・参加し、施設行事にも参加していただけるよう働きかけ、地域の皆さんと顔なじみの関係を築けるよう取り組んでいます平成28年12月には隣に養護老人施設「ふれあい館」が開設し、相互協力しながら大曲地域の活性化に貢献します。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 大曲レインボーハイツ	管理者	四栗 佳織		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、大曲レインボーハイツの小規模多機能だからこそできるケア・サービスや特徴を職員全員に、会議や勉強会を通じて周知、実行</li> <li>新規利用者・家族、地域の方へ小規模多機能の仕組みの理解、利用の仕方をわかりやすく伝えていく手段を計画し、実行できるよう進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状、行っているケアの内容や、新規利用者の情報等は、全職員に伝わるよう会議、事前情報等にて周知できるようになっている。</li> <li>大曲レインボーハイツの小規模多機能のあり方、小規模多機能自体の機能や特徴が、職員やご家族、地域の方への理解や周知が足りず、小規模多機能の認知度が低い。</li> <li>通いや訪問等、在宅生活を継続して行くための小規模多機能の利用ではなく、入所を希望されていて、長期の宿泊サービス利用が増えている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症が落ち着き、外部との関わりが可能になった場合、大曲レインボーハイツの小規模多機能だからこそできるケア・サービスや特徴を職員全員に、会議や勉強会を通じて周知、実行する。</li> <li>新規利用者や家族、地域の方へ小規模多機能の仕組みや利用の方法をわかりやすく伝えていく手段を計画し、実行できるよう進めていく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設行事の開催・地域行事への参加、引き続き進めていく。</li> <li>事業所が少しでも出入りしやすい工夫を行う。</li> <li>らくらく健康体操など、参加することで地域住民の方との交流、顔なじみの関係を築く。</li> <li>イベントや、会議等が出来る交流スペースの設置、確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議の開催場所の変更を行い、現場職員の参加も少しずつできるようになったが、コロナ禍により、運営推進会議の開催が困難なため、書面開催となっている。</li> <li>西地区活動推進協議会の研修や、西コミセン運営委員、コミセン祭り、らくらく健康体操の補助員等を通して、少しずつ顔なじみの関係が築けてきていたが、コロナ禍の為、健康体操の補助員の来所や、多数の職員を地域のイベント等に参加させることが困難な状況にあった。また、施設への出入りも制限した為、行事や会議、面会での地域及び家族の施設への出入りが全くできなくなってしまった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策を行った上で、施設行事の開催や地域行事への参加を引き続き進めていく。</li> <li>事業所に少しでも出入りしやすい工夫を行う。</li> <li>イベントや会議等が出来る交流スペースの設置・確保する。</li> <li>職員の休憩スペース増設を行う。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民への小規模多機能の特徴と、サービスの理解を深めていく取り組みを計画する。</li> <li>地域の会議、催し物への参加・協力</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、地域との繋がり、家族との繋がりが閉ざされてしまい、実行不可能となってしまった。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民への小規模多機能の特徴と、サービスの理解を深めていく取り組みを計画する。</li> <li>地域の会議、催し物への参加・協力</li> </ul>

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、地域住民への小規模多機能の特徴と、サービスの理解を深めていく取組みを計画する。</li> <li>地域の会議への参加・協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方から直接、心配な高齢者の情報や、相談はないが、他事業所との連携、情報収集はとれてきている。</li> <li>小規模多機能を利用している方の住んでいる地域の会議や催し物等には、今現在は参加することが困難。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の会議への参加・協力</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議の日程、場所の調整を引き続き行っていく。</li> <li>現場職員の会議出席回数を増やす。</li> <li>地域の方の出席が増えるよう、民生委員、児童委員、他地域の方の呼び込みを行っていく。</li> <li>ご家族、地域住民に対して、運営推進会議への理解、外部評価の取組みについての説明会等を計画し、出席率の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、運営推進会議や、地域のイベント等の参加が困難な状況にあり、実行不可能。</li> <li>運営推進会議は感染防止の為、施設内への立ち入り制限、大人数での会議を控えたため、書面開催とした。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症が落ちつくまでは書面開催継続。</li> <li>現場職員の会議出席回数を増やす。</li> <li>地域の方の出席が増えるよう、民生委員、児童委員、他地域の方の呼び込みを行っていく。</li> <li>ご家族、地域住民に対して、運営推進会議への理解、外部評価の取組みについての説明会等を計画し、出席率の向上を図る。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のイベント・防災部会や地域との研修会等を通して大曲レインボーハイツをより知ってもらえる取組みの計画</li> <li>引き続き夜間想定避難訓練の地域、家族への案内、参加を呼びかける。</li> <li>災害・防犯など地域と相互協力できる体制づくり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の夜間想定避難訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、施設職員、宿直職員のみで行い、9月の避難訓練時は消防職員立ち合いで実施。</li> <li>日中は、施設は玄関の施錠はせず、開放しているが、防犯上、夜の施錠を実施するように改善。新型コロナウイルス感染症対策として、外部からの来客、家族の面会もお断りさせて頂いた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のイベント・防災部会や地域との研修会等を通して大曲レインボーハイツをより知ってもらえる取組みの計画</li> <li>災害・防犯など地域と相互協力できる体制づくり。</li> </ul>